

第 115 回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成 27 年 1 月

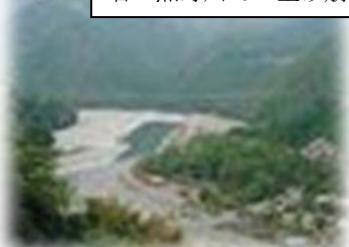
日 時: 2015 年 1 月 30 日(金) 18:00-19:30 場 所: 神奈川大学 3 号館 B-102 号室

◆ 主 催: 防災塾・だるま 司 会: 早川さん 記 録: 中島さん

◆ 談義の会参加者: 会員 17 名 一般 1 名 計 18 名



左: 紀伊半島のマップ
中: 十津川村台風 12 号の被害
右: 熊野川での土砂崩壊



■ テーマ: 「紀伊半島と十津川を巡る災害と文化」の Q&A ゲーム

古くから自然災害に生き抜いてきた紀伊半島について皆さんで考えてみよう…

■ ゲーム出題と進行: 池田邦昭さん(だるま会員)

《ゲーム形式:》

参加者を 3 グループに編成。 それぞれの設問に対し各自が用紙に回答を記載した上、グループの答えを 1 本化して、グループごとの回答により正解ポイントを採点する。

最後に、佐藤さん・池田さん作の陶芸品がゲームの景品として進呈され、和気あいあいの内に終了しました。



《池田さん考案のな設問》…十津川村関係

※正解: _____

- 江戸時代まで十津川村の特別な租税措置は何ですか? ①材木 ②使役 ③免税
- 現在十津川村の日本一は何ですか? ①人口が少ない ②人口密度が低い ③面積が広い
- 平成 23 年台風で紀伊半島全体での土砂崩壊量は? 東京ドーム(120 万 m³)の ①50 杯 ②80 杯 ③150 杯
- 十津川に関連した有名人は? ①「十津川警部」の作者 ②「街道をゆく」の作者 ③観光大使の作曲・歌手は

《池田さん考案の主な設問》…その他

- 阪神淡路大震災関係: ①大震災の発生から何年目か? (20 年)
②その震度は? (7) ③そのマグネチュードは? (7.3)

《明治十津川大水害と平成 23 年台風 12 号による土砂災害》 参考: 横浜市年間降水量 = 約 1,700mm

● 約 120 年前の明治 22 年(1889 年)、台風の豪雨により大水害が発生し、十津川村の被害は死者 245 名、住家被害 554 棟。 そして、2,600 名が北海道へ集団移住し新十津川村が生まれた。

● 東日本大震災と同年、平成 23 年台風 12 号により奈良県南部の土砂災害状況は、奈良県作マップで紹介。

● 崩壊地の比較: 台風 12 号は明治に比べ大規模崩壊の数は少ないが、広域に渡り道路が寸断された。

● 台風 12 号降雨量比較: 十津川村 = 1 時間 44.5mm 24 時間 648mm 72 時間 1,303mm

奈良市 = 1 時間 14.5mm 24 時間 74mm 72 時間 149mm



左: 設問の答えを思考中



中: 平成 23 年台風 12 号による被害状況



右: グループ回答を集約して一安心